

U.S.-JAPAN RESEARCH INSTITUTE

連続セミナー

日 時: 2010年2月1日(月)～2日(火)

場 所: キャピタル ヒルトンホテル(ワシントンDC)

全体テーマ: 鳩山政権の重要課題の日米関係への影響

内 容: 鳩山新政権の重要課題である1)エネルギー・環境政策 2)安全保障 3)東アジア共同体政策の行方は、日米関係の今後に大きな影響を与える。政権交代期における信頼協力関係の構築という観点から、これらの課題を議論するセミナーを行う。

主 催: 日米研究インスティテュート(USJI)

後 援: 京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学

協 力: ワシントン日本商工会(Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.)、日本学術振興会、

National Association of Japan-America Societies、日米協会(The Japan-America Society of Washington DC)、The Maureen and Mike Mansfield Foundation、U.S.-Japan Council、

対象者: 企業、官公庁、シンクタンク、大学、一般等

入場料: 無料

スケジュール:

2月1日(月) 13:30 - 16:00

代表挨拶 : 白井克彦理事長(早稲田大学)

<セミナー1> テーマ: エネルギー・環境政策

パネリスト: 松岡俊二教授(早稲田大学)、秋元諭宏氏(三菱商事)、Kent E. Calder氏(Johns Hopkins University)、原田泰志氏(日立研究所)、Frank E. Loy氏(元国務省副長官)、前田章准教授(京都大学)、松尾健次氏(東京電力)、並木 徹氏(石炭エネルギーセンター理事長)、齋藤圭介氏(経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長)、城山英明教授(東京大学)、Gerald M. Stokes氏(Brookhaven National Laboratory)、武田修三郎教授(早稲田大学)、Phillys Yoshida氏(国務副次官補)

2月2日(火) 9:30 - 12:00

来賓挨拶 : 藤崎一郎駐米日本大使

<セミナー2> テーマ: 東アジア情勢と日米同盟

パネリスト: 阿川尚之教授(慶應義塾大学)、田中明彦教授(東京大学)、柳井俊二氏(元駐米大使)、Michael J. Green氏(Senior Adviser & Japan Chair CSIS and Associate Professor, Georgetown University)、Frank S. Jannuzi氏(Senior East Asia Adviser, United States Senate Foreign Relations Committee)

<セミナー3> 13:30 - 16:00 テーマ: 東アジア共同体とAPEC

パネリスト: 浦田秀次郎教授(早稲田大学)、中達啓示教授(立命館大学)、樋渡展洋教授(東京大学)、Park Sung-Hoon教授(高麗大学)、C. Fred Bergsten氏(ピーターソン国際経済研究所所長)、福永哲郎氏(経済産業省通商政策局アジア太平洋地域協力推進室長) Kurt Tong氏 (Economic Coordinator and U.S. Senior Official for APEC, Bureau of East Asian and Pacific Affairs)

<レセプション> 18:00-20:00 日本大使公邸 主催: 駐米日本大使館